

岩手県職員採用 I 種試験【一般行政 B】 論文試験等課題（過去 5 年間）

<p>令和 4 年度</p>	<p>〔アピールシート課題〕</p> <p>これまでの職務経験の中でどのようなことに取り組み、そこからどのようなスキルを身につけたか、また、それを県政のどのような分野において、どのように生かすことができるかということについて、1,000字以内で具体的に述べなさい。</p> <p>〔論文〕</p> <p>政府は、デジタルの力を活用して地方活性化を図る「デジタル田園都市国家構想」の実現を目指しています。</p> <p>そこで、あなたの職務経験を踏まえ、デジタルの力を活用することで、地方の課題解決につながる取組を1つ挙げ、その具体的な内容と解決策についてあなたの考えを論じなさい。</p>
<p>令和 3 年度</p>	<p>〔アピールシート課題〕</p> <p>あなたのこれまでの職務経験の中でどのような能力やスキルをどのようにして磨いたのか、また、その能力やスキルを県政のどのような分野において、どのように発揮できるかということについて、1,000字以内で具体的に述べなさい。</p> <p>〔論文〕</p> <p>岩手県では、若年層を中心とした県外への転出超過の傾向が続いていますが、このことについて、岩手県の現状における具体的な課題を挙げ、その解決策についてあなたの考えを論じなさい。</p>
<p>令和 2 年度</p>	<p>〔アピールシート課題〕</p> <p>あなたのこれまでの職務経験の中で得た自分の強みは何か。その強みをどのようにして得たか述べるとともに、県政のどのような分野において、どのように力を発揮できるか、具体的に1,000字以内（空白欄含む）で述べなさい。</p> <p>〔論文〕</p> <p>本県は、東日本大震災津波の被災県として、日本そして世界の防災力の向上に貢献できるよう、これまで国内外からいただいた多くの復興支援に対する感謝を示すとともに、東日本大震災津波の事実を踏まえた教訓を伝承し、復旧・復興の取組や防災・減災の最先端地域としての三陸の姿を広く国内外に発信していくことが求められています。</p> <p>そこで、復旧・復興の取組や防災・減災の最先端地域としてどのような取組が必要か、具体的な課題を1つ挙げ、その解決策についてあなたの考えを論じなさい。</p>

令和元年度

〔アピールシート課題〕

あなたのこれまでの職務経験は、県政のどのような分野において、どのように力を発揮することができるか、具体的に1,000字以内（空白欄含む）で述べなさい。

〔論文〕

人口減少問題は、様々な要因によって引き起こされているものであり、その要因の根底にある「住みにくさ」「学びにくさ」「働きにくさ」「結婚しにくさ」などのあらゆる「生きにくさ」を、「住みやすさ」「学びやすさ」「働きやすさ」「結婚しやすさ」に転換し、多くの人々が「住みたい、働きたい、帰りたい」と思える岩手を創っていく必要があります。

そこで、多くの人々が「住みたい、働きたい、帰りたい」と思える「希望郷いわて」実現のために、県行政の視点からどのような取組が必要か、具体的に論じなさい。

平成 30 年度

〔第 1 問 アピール論文〕

あなたのこれまでの職務経験の中で得た自分の専門的な強みは何か。その強みをどのようにして得たか述べるとともに、県行政のどのような分野・業務において特に力を発揮できるか論じなさい。

〔第 2 問 政策課題論文〕

三陸を訪れる観光客の現状は、下表のとおりとなっています。

こうした現状を踏まえ、三陸地域における観光復興を推進するための課題を 1 つ挙げ、その解決策について具体的に論じなさい。

【三陸を訪れる観光客の現状】

岩手県ウェブサイト（(公財)さんりく基金三陸DMOセンター平成 28 年度調査）より

居住地	県内が約 6 割。県内・青森・宮城で約 8 割。
年代	40～60代が最も多い。（6 割以上）
来訪回数	多回数（4回目以上）の者が約 7 割。 ※初来県外の県外客のうち三陸を訪れた者の割合は、1 割未満（7.8%）。
来訪目的	自然、食、買い物、被災地視察等。
三陸を選んだ情報源	来訪経験での好印象、インターネットが多い。 初来訪客の場合は、インターネット、口コミが多い。
交通手段	「自家用自動車利用」が約 8 割。
宿泊の有無	「宿泊しない」が約 8 割。
周遊の状況	観光スポットの組み合わせは「やませ土風館・もぐらんびあ」、「龍泉洞・浄土ヶ浜」など、距離 7～50*。、所要時間約 15～70 分の日帰り可能圏内が多い。
一人・一日当たり消費額	宿泊客＝9,672 円と日帰り客＝4,124 円の 2 倍以上。
満足度	満足を感じている人が約 8 割。一方、不満を感じている人は 1 割に満たない。 満足の理由：景観、食、自然 不満の理由：交通アクセス、ハード全般、商店等の品ぞろえ等
再来訪意向	「また来たい」が約 9 割。一方、「そう思わない」は少数（3.7%）。

<p>平成 30 年度 (特別募集)</p>	<p>〔第 1 問 アピール論文〕</p> <p>あなたがこれまでの職務経験の中で率先して取り組んできたことは何か。それを県行政のためにどのように生かしていきたいか、論じなさい。</p> <p>〔第 2 問 政策課題論文〕</p> <p>本県では、地域経済の維持・発展の原動力として企業の生産性を高めること、また、その担い手である働く人たちがいきいきと働くことができる魅力ある雇用環境を整備することが重要と考え、「いわて働き方改革推進運動」を展開しています。</p> <p>「いわて働き方改革推進運動」をさらに推進するための方策について、どのようなことが考えられるか論じなさい。</p> <p>【いわて働き方改革推進運動】 県内の企業や団体の働き方改革を進めようとする運動</p>
----------------------------	---